

活動のきっかけと目的

「てこぼこさんとはくぶつかん」は、大阪市立自然史博物館で活動する標本作成サークル「なにわホネホネ団」の有志で立ち上げられたプロジェクトです。

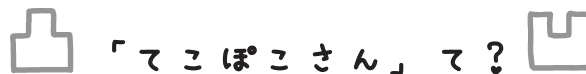
ホネホネ団には生きものの好きの大人たち、子どもたちが集まり、毎月標本づくりのお手伝いをしています。生きものを間近で観察し、触れ、ホネをクリーニングしながら、大好きな生きものの話を思いっきり楽しむ。そんな活動の中で、博物館は自分の興味関心に集中しやすい発達障がいの子どもたちにとって、理想的な環境なのではないかと感じる場面がたくさんありました。

しかし、身体と違って外から見えにくい内部障がいの子どもたちを受け止められる状況が博物館にはまだ少なく、子どもたちにとって安心して訪れられる環境になっていないのでは？という課題に気づき、まずは自分たちのサークルから、勉強会や博物館外の支援団体との交流を通じて、障がいとはどんなものなのか学び、親しみ、理解を深め、当事者とのやりとりやサポートができるメンバーを育てることからはじめようと考えました。

私たちは、博物館が様々な子どもたちにとっての第3の居場所／活躍場所になることをめざし、本人支援・教材開発・関係者への普及啓発を進めていきます。



2020.11.29



発達障がいは、秀でたところと
できないところが
凸凹していると表現されます。
それをもうすこし可愛くして、
「てこぼこさんと博物館」としました。



博物館と、発達障がいのある
子どもたちをつなぐプロジェクト
「てこぼこさんとはくぶつかん」

事務局

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

大阪市立自然史博物館 なにわホネホネ団内

(和田 岳学芸員、西澤、竹村)



museum.tsunagu@gmail.com



活動紹介フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/tekopoko/>



※本プロジェクトは「ドコモ市民活動団体
助成事業」の助成を受けて実施されます



ドコモ市民活動団体助成事業
博物館で活躍しよう！
発達障がいの子どものための学び場づくり

てこぼこさんとはくぶつかん



主催

なにわホネホネ団

大阪市立自然史博物館標本作成サークル

てこぼこさんとはくぶつかん 四つの活動

博物館を届ける教材の開発

ワークショップ

児童施設などで、アウトリーチ型の子どもワークショップを実施し、「博物館的なもの」に関心を持つ地域の「子どもたち・大人たち」とのつながりをつくります。

ワークショップの実施にあたっては、化石やホネなど、実際の資料を活かした博物館らしいテーマをご相談させていただきます。聴覚過敏など個別対応が必要な場合もご相談ください。



なぜ博物館で活動するの？

障がいを知る・学ぶ

勉強会・研修会

各専門機関から講師を招いて、障がい全般や、発達障がいについて学ぶ機会をつくります。博物館職員から学芸員さん、警備員さん、案内員さん、清掃員さんなどさまざまな「博物館関係者」が参加できる機会にします。

他の施設の取り組みを知る

博物館の見学会



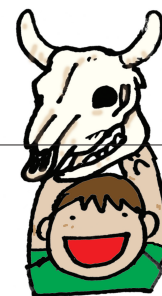
障がいをもった子どもたちへの取り組みをしている他の施設や博物館の事例から学ぶための見学会や、意見交換を行います。



わかりやすいチラシを作る

広報資料の作成

勉強会の案内や、子どもワークショップの募集などのチラシを、普段は自然史博物館にこない層にも手にとってもらうため、地域の障がい者専門機関や、団体を通じて配布します。博物館への入り口になるような、やさしくわかりやすいデザインを心がけます。



凸凹事務局メンバー

○竹村 望（代表）

精神保健福祉士、なにわホネホネ団団員。障がい児たちに博物館を「社会資源」として認識してもらうのが夢。

○西澤 真樹子（副代表）

大阪市立自然史博物館外来研究員。なにわホネホネ団団長。博物館ファンを一人でも多く増やしたいと願う、大の博物館好き。

日本博物館協会は、2012年7月、ICOM(アイコム・国際博物館会議)の「ICOM 職業倫理規程」の理念を反映した「博物館関係者の行動規範」を定めました。その中で「博物館関係者」とは、館職員や学芸員だけではなく、私たちのような市民ボランティアも含めた、広く博物館に関わる人たちであると位置付けています。

行動規範は10あります。その中の【7 展示・教育普及】では、「博物館に携わる者は、博物館が蓄積した資料や情報を人類共有の財産として、

展示や教育普及活動など様々な機会を捉えて、広く人々と分かち合い、新たな価値の創造に努める」、【9 発信・連携】では「博物館に携わる者は、人々や地域社会に働きかけ、他の機関等と対話・連携して、博物館の総合力を高める」としています。

私たち「てこぼこさんとはくぶつかん」はこの二つの行動規範を柱に、博物館とまだつながっていない子どもたちや関係者との関わりを育てることを通して、博物館と私たちの力を高めたいと考えています。